

「後編」とはいうものの、前号のメールとは関係のない話題です。

「新規就農」をめぐって 最近の話題から (後編)

先日、一人の来客がみえました。
 「こんにちは！お久しぶりです」
 「はて、どちら様・・・」
 「以前、おたずねして話を聞かせてもらったことがあります」
 「え～と？」
 「農業をはじめたいということで鯉淵学園から紹介してもらって・・・」
 「あ～、あの磯原出身の!!」
 「はい、Usmです」
 「失礼しました。お久しぶりです」
 「その節はお世話になりました。10年かかっちゃいましたよ」
 「というと・・・」
 「ええ、ようやく農業を始めることになりました。勤めは去年で退職しました。年金を25年積んだところで思い切りました」

なんといいのか、言葉がすぐには出てきません。

内原町にある鯉淵学園という農業と栄養の専門学校で開いている社会人向けの就農セミナーを修了し、そこでうちを紹介されたとのことでした。当時は、ある国立大学の職員さん。それを退職して農業を始めたという希望を語ってくれました。

が、とくに所有農地があるわけでもなく、雲をつかむような話でもあり、生活や収入を考えれば、無責任にすすめるわけにもいきません。前号で紹介したKさんへの返信メールと同じ気持ちでした。

その後、「いろいろ考えて、やはり断念しました」と電話をもらいました。正直、少しホッとしたことを思い出します。それから、もう10年も



里のギャラリー ①

経っていたのかあ。

ところが、夢は持ち続けてらっしゃったんですね。新しく家を建てて、土地も借りる算段をつけたとのこと。パイプハウスを建ててアスパラの栽培を計画しているそうです。

感激です。ぜったい大変だと思いますよ。どうか頑張ってください。うれしさと驚きと心配とエールと、やはり言葉になりません。

そっかあ、すごいなあ。

野ガモ受難

トラクターで、時節はずれ？の田起こし作業をしていたら、突然、野ガモが1羽、ばたばたと。飛び立ったあたりを探してみました。レンゲの中に巣があって、卵が5個。こっだけ耕うんをしないでおいても、すぐ水が張ってしまうなあ・・・

ちょうど、うちのアイガモが抱卵をはじめたところなので、いっしょに温めさせてみることにしました。はてさて、どうなることやら・・・



大きい3個(アイガモ)と、小さな5個(カシガモ)。

しばらく様子を見てたけど、親ガモは戻ってきませんでした。